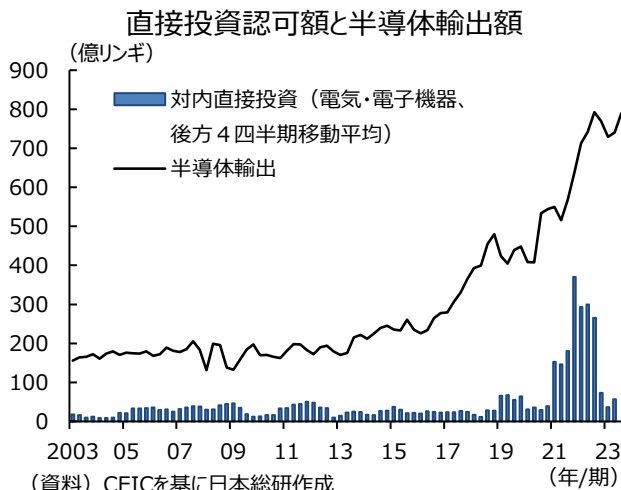


西側諸国の半導体産業の拠点開設が進むアジア新興国

— 先行するマレーシア、それを追いかけるインド、ベトナム —

- (1) アジアでは、半導体サプライチェーンの再編が進行。マレーシアではペナン島で後工程（組み立てなど）を中心に半導体関連産業が集積しており、近年の米中対立やコロナ禍を背景とした供給問題が同産業の拡大を後押し。2021年に海外からの直接投資が急増し、半導体の輸出が大幅に増加（図表1）。
- (2) 今年に入ってから、アジア新興国では海外の半導体メーカーが製造工場の投資計画を相次いで発表（図表2）。マレーシア以外にも、ベトナム、インド、フィリピンで海外からの企業誘致策が進展。マレーシアへの海外直接投資は足元で増勢が一服。
- (3) インドやベトナムへの生産拠点開設の動きは、人件費などのコストが安いことが背景。インドやベトナムの人件費はマレーシアの約6～7割と低位（図表3）。さらに、インドとベトナムは米国と包括的パートナーシップだけでなく、半導体サプライチェーン強靱化に関する覚書を締結するなど、半導体分野での協力関係が深化（図表4）。マレーシアと同様、前工程よりも技術水準が低い後工程を中心に、アジア新興国での半導体投資が拡大する公算大。

(図表1) マレーシアの電気・電子機器産業への

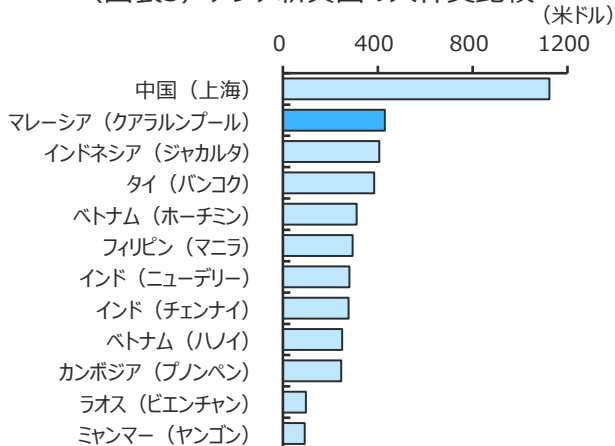


(図表2) 西側半導体企業による投資事例

(百万米ドル)				
国	企業	時期	状態	金額
マレーシア	ローム（日）	2023年9月	完成	60
	ボッシュ（独）	2023年8月	完成	非公開
	インフィニオン・テクノロジー（独）	2030年半ばまで	計画	368
	マイクロン・テクノロジー（米）	2023年10月	完成	非公開
ベトナム	アムコー（米）	今後数年	計画	1,000
	アムコー（米）	2023年10月	完成	1,600
	ハナマイクロン（韓）	2035年まで	計画	400
フィリピン	テキサスインスツルメンツ（米）	2023年9月	完成	600
インド	マイクロン・テクノロジー（米）	2025年までに	計画	400
	マイクロン・テクノロジー（米）	不明	計画	1,000
	マイクロン・テクノロジー（米）	不明	計画	2,750

(資料) 各種報道を基に日本総研作成

(図表3) アジア新興国の人件費比較



(資料) ジェトロ「投資コスト比較」を基に日本総研作成

(図表4) アジア諸国の米国との関係と半導体協定

国	内容	時期
マレーシア	『包括的パートナーシップ』に関係格上げ	14年5月
	半導体サプライチェーン強靱化の覚書締結	22年5月
インド	『包括的グローバル戦略パートナーシップ』に米印関係を位置づけ	20年2月
	半導体サプライチェーン強靱化の覚書締結	23年3月
ベトナム	『包括的戦略パートナーシップ』に関係格上げ	23年9月
	半導体サプライチェーン強靱化の覚書締結	23年9月
インドネシア	『包括的戦略パートナーシップ』に関係格上げ	23年11月

(資料) 各種報道を基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 熊澤 知喜 (kumazawa.tomoki@jri.co.jp, 080-7609-9136)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものです。情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。